

## 応急給水活動を終えた職員の報告会について

能登半島地震による被災地での応急給水活動から帰庁した職員の報告会が、1月25日（木）行われました。

応急給水活動を行うため、1月20日（土）に登米市を出発した職員2名は、5日間にわたり石川県珠洲市での給水活動に尽力しました。

市長への報告会では、現地での活動の様子を動画で報告しました。派遣された職員からは「家屋の倒壊や道路の陥没など、被害状況が甚大だった。小学校と病院にて給水活動を行ったが、『遠くから支援に来てくれてありがとう。』と、多くの方から感謝の言葉をいただきとても嬉しかった。」と振り返っていました。

熊谷市長は「家族がいるにも関わらず、被災地支援として5日間に渡り、応急給水活動に努めていただき非常に感謝している。」と派遣された職員2名を労いました。



報告会の様子



活動状況を動画で報告しました

## 応急給水活動の様子



雪が降る中、給水活動が行われました



道路の陥没や垂れ下がった電線による迂回など、交通状況は非常に悪いものでした



断水復旧までの間、特殊な装置により溜池から汲み取った水を、飲用に適した水に浄化しています

(R6. 1. 22 更新)

### 能登半島地震に係る応急給水活動への職員派遣について

令和6年1月1日に発生した、能登半島地震の被災地で応急給水活動を行うため、上下水道部職員及び登米市管工事業協同組合の2名が石川県珠洲市に向けて出発しました。

派遣期間は、1月20日（土）から1月24日（水）までの5日間で、20日早朝に出発式が行われました。細川上下水道部長が「東日本大震災の時には全国から大きな支援をいただいた。被災地の皆様に寄り添った支援をしてください。」と派遣される職員を激励しました。

また、支援物資として、給水袋（6ℓ）を200枚、被災地に届けることとしています。



出発式の様子



珠洲市に向けて出発しました